

# 大規模地震を想定した対策を

## 町長 生命・財産を守ることが最優先

### 大規模地震災害への対策は

問

日本にはいくつもの断層帯がある。本州を縦に割る断層や、東北関東東側にある北米プレート、九州、和歌山沖から関東に結ぶフィリピンプレート等、日本の地下に潜り込もうとする断層帯の力関係で大地震が起きている。今回の熊本地震のように、避難所に行けず道路も電話も寸断され、役場とも連絡がつかない事態にどう対処できるのか。



石川重二議員

町長

本町の「地域防災計画」で、大規模地震を想定した応急対策を定めている。指定避難所は15カ所となっている。議員から指摘がされたインフラの崩壊で東西分離のみならず、集落間の移動ができなくなるなど、いわゆる孤立集落が発生することは否定できないと認識している。このような場合は、国・県への援助要請を速やかにしていきたいと考えている。

### 地域の中で避難についての語り合いを

問

年一度の災害避難訓練で、万が一に避難所へ行けない時はどうするかを各地区で語り合い、どう動くかを考えていくべきでは。

町長

大規模地震の場合、行政が直ちに全てに対処することは極めて困難になると予想される。そのため、「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が大切になる。自主防災組織においては、自主的な防災訓練の実施、防災備品の整備、災害弱者の把握調査、防災マップの作成などを進めている。

### 水田の畔への除草剤散布は

問

水田の畔に除草剤の散布をやるべきと思うが。畔や水路の土手が崩れるなどの被害が起きているかどうか。

町長

農業者の高齢化や担い手不足などで維持管理が困難になり、どうしても使用せざるを得ない状況

農林主幹

田の畔へ除草剤使用の件で、県の農業改良普及課と話をした。明確に使わないでほしいということは行政からは難しい。にある。農地維持支払制度などを活用し、農業者だけでなく、地域全体で水路やのり面の維持管理をお手伝いいただきたい。



うまく炊けた？（防災訓練）